



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年11月5日

上場会社名 株式会社中京医薬品 上場取引所 東
 コード番号 4558 URL <http://www.chukyoiyakuhin.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米津 秀二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 飯田 亨 TEL 0569-29-0202
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 2019年12月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	2,414	△5.0	△75	—	△69	—	△91	—
2019年3月期第2四半期	2,541	△4.8	△32	—	△25	—	△35	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	△10.87	—
2019年3月期第2四半期	△4.28	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	4,514	1,715	38.0	203.74
2019年3月期	4,564	1,822	39.9	217.06

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 1,715百万円 2019年3月期 1,822百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
2020年3月期	—	2.50			
2020年3月期 (予想)			—	2.50	5.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,572	6.0	114	2,180.0	126	384.6	45	60.7	5.42

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期2 Q	11,660,734株	2019年3月期	11,660,734株
2020年3月期2 Q	3,239,710株	2019年3月期	3,264,469株
2020年3月期2 Q	8,408,311株	2019年3月期2 Q	8,360,060株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
3. その他	7
継続企業の前提に関する重要事象等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による各種政策により、所得から支出への前向きなメカニズムが働き、良好な雇用・所得環境が続くなか、緩やかな回復基調で推移しました。一方では、消費税増税に伴う個人消費等への影響が懸念されるなど、先行きは不透明な状況となっております。

このような環境の中で、当社は企業理念として掲げる「健康づくり、幸福づくり、人づくり」の具現化に向けて、お客さまの生活を支えるための商品や情報・サービスを多角的・多面的に拡充するトータルライフ・ケアを推進してまいりました。また、当社ならではの「ふれあい業」による人と人との絆によるヒューマンネットワークを広げ、お客さまや市場に継続的に評価をいただくことに努め、収益力と企業体質の強化を図ってまいりました。

売上高につきましては、働き方改革の目的である一億総活躍社会の実現において、全社員総活躍企業として方針を定め、営業環境の見直しと地域毎の戦略を打ち出すための基盤を整備しました。

その結果、当第2四半期における売上高は2,414百万円（前年同期比5.0%減）、営業損失は75百万円（前年同期は営業損失32百万円）、経常損失は69百万円（前年同期は経常損失25百万円）、四半期純損失は91百万円（前年同期は四半期純損失35百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①家庭医薬品等販売事業（小売部門・卸売部門）

小売部門においては、地域毎の戦略を実行していくために、全国の営業社員が担当する地域の整備と直行・直帰の導入により営業時間の確保と営業効率の改善を行いました。また、顧客先への商品委託を強化することにより、営業人員で左右されない顧客主導の安定的な収益基盤の確立を目指しました。そのため第2四半期（7～9月）においては、営業人員が減少したものの前年同期と比べ売上高は概ね前年を維持することに繋がりました。

卸売部門においては、炭酸水の販売増加、除菌消臭関連商品の販売や新商品「エアーマスクタブロックプラス」の導入が始まりました。

その結果、売上高は2,107百万円（前年同期比4.5%減）、セグメント損失92百万円（前年同期はセグメント損失50百万円）となりました。

②売水事業部門

昨今の健康志向ブームによる飲料水へのこだわりと、拡大するミネラルウォーター宅配市場の成長の波に乗り、早期に中核事業の1つとして確立することを目標としております。上期においては、抗菌カートリッジを半年から1年間有効とする品質性能へ変更し、買い替え頻度が減少したため、売上高は減少いたしました。

その結果、売上高は304百万円（前年同期比8.5%減）、セグメント利益16百万円（前年同期比7.0%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期会計期間末における流動資産は2,116百万円となり、前事業年度末に比べ35百万円減少いたしました。これは主に委託商品の増加14百万円、原材料及び貯蔵品の増加13百万円及び現金及び預金の減少83百万円によるものであります。固定資産は2,398百万円となり、前事業年度末に比べ15百万円減少いたしました。これは主に建物及び構築物の減少13百万円によるものであります。

この結果、総資産は4,514百万円となり、前事業年度末に比べ50百万円減少いたしました。

（負債）

当第2四半期会計期間末における流動負債は1,996百万円となり、前事業年度末に比べ168百万円減少いたしました。これは主に短期借入金の減少180百万円によるものであります。固定負債は802百万円となり、前事業年度末に比べ225百万円増加いたしました。これは主に長期借入金の増加250百万円によるものであります。

この結果、負債合計は、2,798百万円となり、前事業年度末に比べ56百万円増加いたしました。

（純資産）

当第2四半期会計期間末における純資産は1,715百万円となり、前事業年度末に比べ106百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金の減少113百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は38.0%（前事業年度末は39.9%）、1株当たり純資産額は203.74円（前事業年度末は217.06円）となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月15日付けにて発表しました業績予想からの変更はありません。詳細につきましては「2019年3月期決算短信」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	736,375	652,482
受取手形及び売掛金	436,678	440,171
商品及び製品	497,706	505,942
委託商品	354,964	369,160
仕掛品	110	110
原材料及び貯蔵品	28,946	41,972
その他	101,129	111,211
貸倒引当金	△4,644	△4,808
流動資産合計	2,151,266	2,116,242
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	550,846	536,861
土地	1,313,150	1,313,150
その他（純額）	48,608	47,187
有形固定資産合計	1,912,605	1,897,199
無形固定資産	105,497	87,095
投資その他の資産		
前払年金費用	97,024	100,405
その他	303,048	317,864
貸倒引当金	△4,530	△4,302
投資その他の資産合計	395,542	413,967
固定資産合計	2,413,645	2,398,262
資産合計	4,564,912	4,514,505
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	362,723	455,940
短期借入金	1,010,000	830,000
1年内返済予定の長期借入金	159,368	204,252
未払法人税等	38,588	31,115
賞与引当金	108,750	108,290
返品引当金	19,809	9,566
その他	465,634	356,995
流動負債合計	2,164,874	1,996,159
固定負債		
長期借入金	169,852	419,867
退職給付引当金	150,126	150,125
株式給付引当金	16,705	18,909
資産除去債務	4,704	4,731
長期未払金	178,120	178,120
その他	58,011	30,871
固定負債合計	577,520	802,624
負債合計	2,742,395	2,798,783

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	681,012	681,012
資本剰余金	424,177	424,177
利益剰余金	1,687,549	1,574,339
自己株式	△972,859	△965,899
株主資本合計	1,819,879	1,713,630
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,636	2,090
評価・換算差額等合計	2,636	2,090
純資産合計	1,822,516	1,715,721
負債純資産合計	4,564,912	4,514,505

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	2,541,348	2,414,143
売上原価	708,856	715,754
売上総利益	1,832,492	1,698,388
販売費及び一般管理費	1,865,296	1,774,134
営業損失(△)	△32,804	△75,745
営業外収益		
受取利息	76	55
受取配当金	739	507
受取家賃	6,069	6,233
その他	2,437	1,438
営業外収益合計	9,323	8,235
営業外費用		
支払利息	1,984	2,257
その他	1	0
営業外費用合計	1,985	2,257
経常損失(△)	△25,466	△69,767
特別損失		
固定資産除売却損	46	434
特別損失合計	46	434
税引前四半期純損失(△)	△25,512	△70,202
法人税、住民税及び事業税	19,403	19,403
法人税等調整額	△9,103	1,753
法人税等合計	10,300	21,156
四半期純損失(△)	△35,813	△91,359

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）	当第2四半期累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失（△）	△25,512	△70,202
減価償却費	45,946	43,177
固定資産処分損益（△は益）	46	434
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△47	△64
退職給付引当金の増減額（△は減少）	1,881	△1
株式給付引当金の増減額（△は減少）	2,634	2,204
賞与引当金の増減額（△は減少）	△28,410	△460
受取利息及び受取配当金	△815	△1,368
支払利息	1,984	2,257
売上債権の増減額（△は増加）	10,924	△11,188
たな卸資産の増減額（△は増加）	△174,227	△34,457
仕入債務の増減額（△は減少）	138,660	93,216
未払費用の増減額（△は減少）	△5,154	△35,342
その他	△29,211	△42,641
小計	△61,301	△54,437
利息及び配当金の受取額	800	1,355
利息の支払額	△1,984	△2,257
役員退職慰労金の支払額	—	△54,600
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△25,138	△25,091
営業活動によるキャッシュ・フロー	△87,623	△135,030
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△17,300	△83,540
定期預金の払戻による収入	24,407	79,940
有形固定資産の取得による支出	△862	△10,448
無形固定資産の取得による支出	—	△356
貸付金の回収による収入	599	1,549
保険積立金の積立による支出	—	△20,424
その他	△21,275	1,017
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,430	△32,261
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	180,000	△180,000
長期借入れによる収入	—	400,000
長期借入金の返済による支出	△112,089	△105,101
リース債務の返済による支出	△22,356	△20,337
自己株式の取得による支出	△21	△46
自己株式の売却による収入	6,820	7,006
配当金の支払額	△21,676	△21,722
財務活動によるキャッシュ・フロー	30,676	79,799
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△71,377	△87,493
現金及び現金同等物の期首残高	538,749	515,955
現金及び現金同等物の四半期末残高	467,372	428,462

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自2018年4月1日 至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期損益計算書計上額 (注) 2
	家庭医薬品等販売事業		売水事業部門	計		
	小売部門	卸売部門				
売上高						
外部顧客への売上高	1,945,470	260,867	332,926	2,539,264	2,083	2,541,348
計	1,945,470	260,867	332,926	2,539,264	2,083	2,541,348
セグメント利益 又は損失(△)	△57,580	7,124	17,652	△32,804	—	△32,804

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期損益計算書計上額 (注) 2
	家庭医薬品等販売事業		売水事業部門	計		
	小売部門	卸売部門				
売上高						
外部顧客への売上高	1,842,363	265,303	304,710	2,412,377	1,766	2,414,143
計	1,842,363	265,303	304,710	2,412,377	1,766	2,414,143
セグメント利益 又は損失(△)	△95,920	3,758	16,417	△75,745	—	△75,745

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。